

東士狩小学校 学校だより 10月号 (令和5年10月25日発行)

さわやか

3つの「あ」 あいさつ あんぜん あとしまつ

【東士狩小学校 教育目標】

個性豊かに、たくましく生きる
子供の育成

『めざす子供像』

- 自ら学び表現する子
- 友だちと仲よくする子
- 進んで身体をきたえる子
- ふるさとを愛する子

校長 坂下 亮宏

学び続ける教職員集団を目指して

～10月11日 音更町複式教育研究大会～

音更町複式教育研究大会が、10月11日(水)に本校を会場として行われ、3本の授業を公開いたしました。本校ではこれまで、算数科におけるICT機器の活用を中心に研修を進めており、3年計画のまとめの年でもあります。社会が急加速的に変化し、つい数年前まで教科書とノートを使った授業が主でしたが、一人一台タブレットが貸与され、鉛筆やノートと同じ「学習道具」として使われるのが当たり前になりました。

さて、授業では学習アプリ「ロイロノート」を活用した授業を公開しました。ロイロノートは自分の考えをタブレット上でまとめ提出し、画面で友達と考えを共有できるアプリになります。本校の先生方も、日々タブレットを活用し、試行錯誤しながら教材研究を進め授業を展開しています。分科会でも熱心に協議していただき、これまでの研修の成果が見られた研究大会であったと思います。

今回の研究大会で学んだことを生かし、引き続き学び続ける教職員集団となるよう自校の授業改革を進めて参ります。



よろしくお願いいたします

10月から教頭として着任しました鈴木めぐみです。約20年ぶりの小規模校勤務でドキドキしていましたが、素直でかわいい子供たちに囲まれて毎日楽しく過ごしています。慣れないことも多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、これからたくさんのことを学んでいきたいと思っています。保護者・地域の皆さんとともによりよい学校になるよう精一杯頑張っていきますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



元気な赤ちゃんを!



昨年の4月から学校司書として勤務しておりました恩田晶子さんですが、10月11日(水)の勤務を最後に産前休暇に入ります。この日は、最後の読み聞かせとなり、最後には子供たちからお手紙やプレゼントが渡されました。これまで1年半の間、毎週水曜日に読み聞かせをしていただき、本を読むことが大好きな子供も増えてきました。ぜひ元気な赤ちゃんを産んで、学校に遊びに来てほしいと思います。

つながる東士狩

小小連携「模擬選挙」

中学校エリアの活動として、音更小学校との連携事業が10月12日（木）に行われました。この日は6年生が参加し、「模擬選挙」を体験しました。

前半は選挙制度についてクイズ形式で楽しく学ぶことができました。後半は実際に投票（全員）と開票・集計（由芽さん）を行い、一連の作業を体験することができました。

また、この日は音更小学校との合同学習で、子どもたちは緊張した様子でしたが、後半は一緒に話をするなど少しずつではありますが打ち解けた様子も見られました。今後は2月8日に5年生が「消費者教育」を行う予定です。

今後更に小小、小中連携を進め、中学校へのスムーズな接続に努めていきたいと考えています。



地域連携「牧場見学」「写生会」



9月29日（金）には低学年が「写生会」、3年生が「牧場見学」で学校のお隣にあります山本牧場に行きました。

ほとんどの子どもが初めての見学で、「搾乳ロボット」や「餌やり（寄せ）ロボット」（通称ルンバ）、そして何よりも近くで見る牛の大きさにびっくりしていました。

何気ない「感動」「驚き」こそが、生きた学びです。今後も地域からたくさんの方のことを学びたいと思います。ありがとうございました。

自分の命は自分で守る！

10月13日（金）は避難訓練、17日（火）は防犯教室が行われました。いずれも「自分の命は自分で守る！」ための大切な学習です。

避難訓練は火災を想定したものでした。放送が鳴ってからわずか1分で避難終了することができました。その際にも「おかしも」を意識した立派な姿でした。避難後は、「煙道体験」も行いました。

煙道体験では、煙により視界が遮られ周囲が何も見えない状況でした。火元から素早く逃げることも、そして煙に巻き込まれないことも大切であると学ぶことができました。

また、17日にはALSOK北海道帯広支社の方を講師に、防犯教室が行われました。登下校中の様々な危険に対しロールプレイングを行い、考えて学ぶ体験学習となしました。合言葉は「自分の命は自分で守る」です。

